

各 位

2026年5月26日
株式会社インプレス

面倒な作業を自動化して仕事の効率アップ！
『できる Power Automate for desktop 改訂2版 Copilot 対応』を
5月26日（火）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、最新のPower Automate for desktopを使った自動化のノウハウが身に付く解説書『できるPower Automate for desktop 改訂2版 Copilot対応』を2026年5月26日（火）に発売いたします。



■Windows標準の自動化ツールを「一から確実に」学べる

Windows 11に標準搭載されている「Power Automate for desktop」は、プログラミングの知識がなくてもマウス操作で業務を自動化できるRPAツールとして注目を集めています。本書は、最新の操作画面に基づき、ツールを触るのが初めての方でも迷わず進められるように一から手順を解説。単に操作手順をなぞるだけでなく、自動化に欠かせない「変数」や「条件分岐」「ループ」といったプログラミング的な基礎概念を、図解を交えて説明しているのが特徴です。「なぜ動くのか」という仕組みから理解することで、学習後には自分の業務に合わせて自力でフローを組み立てられる「確かな基礎力」がしっかり身に付きます。

■実務ニーズに応え全7章へ拡充。話題のAI（Copilot）活用も紹介

今回の改訂版では、Excelのフィルター処理や重複削除、印刷に関するレッスンなど、実務に即応したコンテンツを大幅に拡充し、全5章から全7章構成へとボリュームアップしました。また、話題のAI（Copilot）についても、フロー作成をサポートしてくれる相談役としての活用法を第7章として新設。自動化の可能性を広げる最新トピックとしていち早く触れており、日々のルーチンワークや煩雑なデータ転記を劇的に効率化したいすべてのビジネスパーソンに最適な一冊です。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・最新の画面で、一から確実に「Power Automate for desktop」を学びたい方
- ・手作業のコピペ業務を効率化したい方
- ・AI（Copilot）を自動化に活用してみたい方
- ・VBAなどのプログラミング言語に苦手意識がある方

レッスン 17 「変数」を知ろう

変数

練習用ファイル なし

Power Automate for desktopを使いこなすうえで重要な「変数」を解説します。「変数」はデジタルツール共通の概念のため理解できるとPower Automate for desktopだけでなく、さまざまなローコードツールを使いこなせるようになります。

必要な値を一時的に保管できる「変数」

「変数」とは、数値やテキストなどのデータを一時的に保管できる「箱」のようなものです。下図のように、毎日デザートとして配る果物を入れる「本日の果物」と書かれた箱があるとします。この箱に入る果物は、昨日は「さくらんぼ」、昨日は「ぶどう」、今日は「メロン」と毎日変わっていきます。Power Automate for desktopにも、このような箱を「変数」として準備することができ、そのときに必要な数値やテキストなどを入れることができます。変数を入れる箱の名前を「変数名」、箱に初めて入る数値やテキストを「初期値」、現在箱の中に入っている数値やテキストを「現在値」といいます。変数に格納したデータは、変数名を使うことで自由に取り出し、各アクションの設定にも使用できます。

変数の初期値 (Initial Value)

変数の現在値 (Current Value)

変数名 (Variable Name)

「本日の果物」という名前が「現在の果物」に入っている値を取り出せる

キーワード

- 数値型 P.233
- データ型 P.233
- 変数 P.234

使いこなしのヒント

数字の「変数」とは違う

数字ではある数がある値を取る場合、変数「x」や「y」などとは違います。Power Automate for desktopの「変数」とは考え方が異なることを押さえておきましょう。

まとめ 実践的なフロー作成に欠かせない

変数はそのときどきによって必要なデータを入れる便利な箱のようなものです。箱の名前を「変数名」、箱に初めて格納されるデータを「初期値」、現在箱に格納されているデータを「現在値」と呼ぶことをまず覚えましょう。変数の使い方が分かるようになると、実践的なフローが作れます。

変数の作られ方は2種類ある

変数は、「変数の設定」アクションを使って自分で作る場合と、選択したアクションによって自動で作られる場合があります。「変数の設定」アクションの場合は、自分で変数の初期値を決めることができます。一方、選択したアクションによって自動で変数が作られる場合、初期値はそのアクションによって取得される値となります。例えば、ExcelワークシートのセルA1のデータを読み取るアクションを配置した場合、「ExcelData」という変数がアクションにより作りられ、読み取ったデータは初期値として格納されます。

変数には「型」がある

変数にデータが格納されると、データの種類ごとに「型」が決まります。氏名などのテキストが格納された場合は「テキスト型」、100や200などの数字が格納された場合は「数値型」など、複数の型が存在します。変数の「型」は自動で決められるので、あまり意識しなくても使うことができますが、0から始まる数字を変数に格納する場合に注意が必要です。例えば、「001」を変数に格納したい場合、変数の型が「数値型」になっていると、先頭の0が自動で消されてしまいます。このような場合は、変数の「型」を「数値型」から「テキスト型」に変更するアクションを使って「型」を変更する必要があります。

変数の主なデータ型

データ型	説明
数値型	0～9（マイナスも含む）までの数字に適用される数値演算可能なデータ型
テキスト型	あいいうえお、abcde、...といった文字列に適用される
Datetime型	{5/17/2026} {3:04:42 PM}といった日付や時間に適用される
データテーブル型	Excelのような表形式のデータの場合、データテーブル型となる。値を使用するには、[%変数[行番号]][列番号]と値を指定する必要があります。これは2次元配列に相当
インスタンス型	WebブラウザやExcelなどのアプリケーションの起動や、アプリケーションのウィンドウを取得した際に応用される型。操作するウィンドウを識別する際に必要となる

自動化に必要な基礎概念をしっかりと解説

レッスン 30 読み取ったデータを別のExcelファイルに転記するには

データの転記①

練習用ファイル [第4章] フォルダー

読み取ったデータを、繰り返し処理を使って1行ずつ【請求書様式.xlsx】の指定したセルに書き込んでいく操作を作成します。

読み取ったデータを様式ファイルの指定したセルへ順番に書き込む

読み取ったデータは【For each】アクションで生成された変数【CurrentItem_処理中の行】に1行ずつ格納されます。この変数を使い、請求項目のデータを【請求書様式.xlsx】の指定したセルへ順番に書き込んでいきます。

変数 [ExcelData_請求項目一覧] に格納した値を請求書様式.xlsxに転記する

使いこなしのヒント

フロー内に「コメント」を入れられる!

フローが長くなったり、同じようなアクションが続いたりした場合は、どのような処理をしているのかわかりにくくなってきます。そのような場合は【プロコントロール】グループの【コメント】アクションを使って、説明を入れることができます。詳しくは**特典PDF**で解説しています。

【コメント】アクションを使うと、説明を入れることができます

使いこなしのヒント

%CurrentItem_処理中の行【列名】%の入れ方はコピー&ペーストを活用

列名を囲う「」(シングルクォーテーション)は半角で入力しないと「書き込み値: 構文エラーです」というエラーメッセージが出ます。正確に入力できたアクションをコピーして編集を行うことで、エラーを回避できます。

1 コメントを入れる

1 【コメント】をクリック

2 [Ctrl]+[C]を押す

3 [End]をクリック

4 [Ctrl]+[V]を押す

5 貼り付けられた【コメント】をダブルクリック

項目 設定内容

コメント 「取引先名、担当者名、支払期限の書き込み=====」と入力します。

2 「取引先名」列の値を転記する

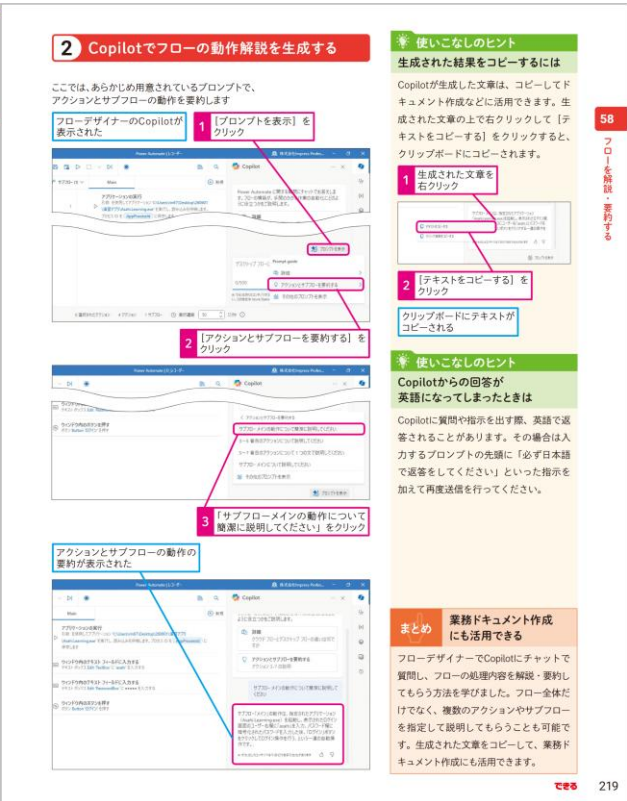
1 【Excelワークシートに書き込む】を【End】の上にドラッグ

使いこなしのヒント

【取引先名】の「」は何?

変数【CurrentItem_処理中の行】で取り出す列を指定する際に、列名を使用する場合は「」(シングルクォーテーション)で囲う必要があります。これはPower Automate for desktopに変数内に数字ではなく、文字列が入っていることを伝えるためです。半角で入力するようにしてください。

実務に即した内容で、日々のルーチンワークに応用できる



Power Automate for desktopに搭載されたCopilotの活用方法も解説

■本書の構成

- 第1章 Power Automate for desktopの基本を学ぼう
- 第2章 業務の自動化に必要な基本操作を覚えよう
- 第3章 自動化に欠かせない3つの基礎概念を学ぼう
- 第4章 Excelの作業を自動化しよう
- 第5章 Webページへの入力を自動化しよう
- 第6章 業務シーン別のテクニックを覚えよう
- 第7章 Copilotを活用して作業を効率化しよう

■書誌情報



書名：できるPower Automate for desktop 改訂2版 Copilot対応
 著者：あーちゃん&できるシリーズ編集部
 監修：株式会社ASAHI Accounting Robot研究所
 発売日：2026年5月26日（火）
 ページ数：240ページ
 サイズ：B5変形判
 定価：2,530円（本体2,300円＋税10%）
 電子版価格：2,530円（本体2,300円＋税10%）※インプレス直販価格
 ISBN：978-4-295-02433-0

- ◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295024333>
- ◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1125101158>
- ◇書影ダウンロードページ：<https://dekiru.net/press/502433.jpg>

■著者

あーちゃん

元・製造業の人事総務。アナログ業務に「このままで自分と会社は大丈夫なのか？」と不安を抱えRPAに出会う。IT知識ゼロから書籍で独学し、勤務先（当時）へ導入。孤軍奮闘する日々をXで発信し多くの反響

を呼ぶ。その経験を活かしSNS経由で転職。アナログ事務職から一転、現在はローコード支援会社にフルリモートで勤務。「悩む事務職の力になりたい」と発信を続ける。

■監修

株式会社ASAHI Accounting Robot 研究所

RPAやローコードを活用した業務改善に強いDX企業。前身は税理士法人あさひ会計の業務効率化チーム。Power Automate for desktopの元となったWinAutomationで数千時間の削減に成功し2019年に法人化。ヒトとロボット協働時代を推進し、RPAやローコード、AI で日本の中小企業を変えることを掲げ、全国でDX導入や開発者育成を行う。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。